

北竜

北竜町ルートマップ

ひまわりの里 散策ルート

見晴らしのいい公園と四季折々の花木が美しい公園。ふたつの公園を巡り、なだらかな丘に広がる「ひまわりの里」を歩きます。

Footpath Information ルート情報

スタート	道の駅 サンフラワー北竜
ゴール	道の駅 サンフラワー北竜
距離/所要時間	約10.6km/約3時間
休憩所/トイレ	道の駅 サンフラワー北竜、金比羅公園
駐車場	道の駅 サンフラワー北竜
利用可能期間	通年
問合せ	北竜町総務課企画係 電話 0164-34-2111

Information Icon ルート記号

- 花を見ることが出来るスポット
- 景色がよく、写真を撮るのに最適な場所
- 温泉施設がある場所
- 動物や野鳥などを観察できる場所
- ハチやブヨに注意が必要・立ち入りが危険な場所
- 駐車場
- バス停
- トイレ
- 小・中学校
- 寺

●北竜町フットパス/難易度目安

北竜町のルートは比較的なだらかで歩きやすい。フットパス初心者にもおすすめ。

●アドバイスと注意点

ゆるやかな丘に広がる「ひまわりの里」を中心にしたルートなので、終始快適に歩くことができますが、高台の公園付近にある急な坂道だけは注意が必要です。林の中を抜けるので、夏場は虫よけ対策を忘れずに。

アクセス&インフォメーション

■公共交通

JR深川駅より空知中央バス「深川十字街」まで徒歩約3分、空知中央バス「深川十字街」から和線に乗換「北竜温泉」まで約35分
札幌駅前バスターミナルより中央バス「高速のりもい号」で約2時間、「北竜中学校前」下車 ※夏期のみ
札幌駅前バスターミナルから中央バス「高速のりもい号」で約1時間35分「深川十字街」下車、空知中央バス「深川十字街」から和線に乗換「北竜温泉」まで約35分

■自動車利用

札幌から道央道・深川留萌自動車道沼田IC経由で約1時間30分
旭川から道央道・深川留萌自動車道沼田IC経由で約20分

[交通の問合せ先]

JR深川駅 電話 0164-22-2862
北海道中央バス札幌ターミナル 電話 011-231-0500
北海道中央バス留萌ターミナル 電話 0164-42-2073
空知中央バス 電話 0125-24-8855



Footpath Route

青空に映える黄色いじゅうたん
心なごむ風景が広がる丘を往く

日本一の作付け面積約23.1haを誇る「ひまわりの里」して知られる北竜町。国道275号沿いのゆるやかな斜面に黄色に染めるヒマワリ畑が印象的ですが、暑寒別岳を主峰とする増毛山脈が町内を走り、全面積の70%を山林が占める緑も豊かなまち。今回は、まちを一望できる小高い丘や緑がまぶしい森を抜け、ふたつの公園を巡るルートを紹介。ヒマワリだけじゃない北竜町の新たな魅力を見ることができるはず。



スタートは道の駅がある「サンフラワーパーク」。建物裏手の道路から一本目を左折したら、砂利の農道へ。左手に電信柱があるT字路を右折します。

突き当たりを左折して少し歩くと、右手に「いちいの森」が見えてきます。奥まで進みロータリーに出たら、右手の遊歩道へ入ります。

少し歩くと右手に車両通行禁止の柵が見えてきます。脇道へ入り、さらに奥へ進むと両側に森や畑が広がる下り坂&上り坂があります。

上りきったら再び車両止めの柵を通り抜け、右手へ。眼下に、これから立ち寄る公園が見えてきます。火山灰なので足元に注意して進みましょう。

公園から下るとアスファルト道路に出ます。左方向へ進み、少し歩いたら二股を右へ。左手の赤い屋根の建物から、右手の農道へ入ります。

カーブを曲がるとゆるやかな上りの直線道路。「ひまわりの里」に入り最初の角を左折。パークゴルフ場を過ぎたらもうすぐゴールです。

カーブを曲がるとゆるやかな上りの直線道路。「ひまわりの里」に入り最初の角を左折。パークゴルフ場を過ぎたらもうすぐゴールです。

Footpath Area

A サンフラワーパーク

国道275号沿いにある中世のオランダの古城をイメージしたお洒落な建物は、まちのランドマーク。「道の駅サンフラワー北竜」をはじめ、温泉、レストラン、売店、ホテルなど様々な施設を兼ね備えています。ここでは、地元素材を取り入れたユニークなオリジナルメニューや「ひまわりソフト」、種類豊富な特産品など迷ってしまうほどの「おいしさ」がずらり。大地の恵みを存分に堪能することができます。

■住所/北竜町字板谷163-2
■電話/0164-34-3321
■時間/8:00~22:00
(売店8:00~21:00、温泉9:30~22:00、レストラン11:00~8:00)
■定休/無
■料金/日帰り温泉大人500円、子ども250円 (バスタオル&タオルレンタル315円)



北竜温泉

ゴールしたら、天井が高く明るい大浴場や岩造りの露天風呂にゆったり浸かり、疲れをいやしましょう。ヒマワリの花や茎などの成分を利用した「ひまわり湯」は、肌がスベスベになると評判。無料休憩室もあり、湯あがりもくつろぐことができます。

C 眺望の丘

自然の地形をいかした園内には、日本庭園や東屋、池などがあり、高台ならではの眺望を楽しむことができます。坂を上った入口に石造りのベンチがあるので、疲れたらここで休憩を。私有地なので、マナーを守って利用しましょう。

■住所/北竜町字西川365
■休業/冬期閉鎖

D 眺望の丘

小高い丘にあり、四季折々の美しい風景を楽しめる公園。例年5月上旬から6月上旬にかけてエゾヤマザクラやシバザクラが咲き誇り、秋は見事なまでの紅葉に包まれます。園内には水道やトイレ、小さな神社があります。

■住所/北竜町字三谷104-3
■電話/0164-34-3221(NPOひまわり)
■休業/例年11月~4月下旬



北竜門

「サンフラワーパーク」の玄関口にある北竜門は、二頭の竜が両側から向き合うひときわ目を引くデザイン。開町100年を記念して建てられ、多くの観光客を迎えています。上に登ることできるので、記念にぜひ!



D 金比羅(こんびら)公園

小高い丘にあり、四季折々の美しい風景を楽しめる公園。例年5月上旬から6月上旬にかけてエゾヤマザクラやシバザクラが咲き誇り、秋は見事なまでの紅葉に包まれます。園内には水道やトイレ、小さな神社があります。

■住所/北竜町字三谷104-3
■電話/0164-34-3221(NPOひまわり)
■休業/例年11月~4月下旬

自然・田園

周辺のみどころ



●ひまわりの里

北竜町の代名詞となっているのが、国内最大級を誇る約130万本のヒマワリ畑。今から30年以上前、4.2haの作付けから始まったヒマワリ畑は、平成元年「ひまわりの里」として造成をスタート。今では約23haにまで広がり、約130万本のヒマワリが咲き誇ります。例年7月中旬から少しづつ咲きはじめる、見ごろは8月上旬から中旬。丘を埋めつくす鮮やかな緑と黄色のじゅうたんは、見るものを圧倒するほどの美しい風景が広がります。毎年、同じ場所で大輪のヒマワリを咲かせることができるのは、土壌改良や町民ボランティアによる草取り、連作障害を防ぐための研究や努力によるもの。目に焼き付けておきたい、空知を代表する美しい風景です。

■住所/北竜町字板谷143-2 ■電話/0164-34-2111(北竜町産業課)
■料金/無料 ■駐車場/有



●ひまわりまつり

ヒマワリの開花に合わせて開催されるロングランのおまつり。「ひまわり迷路」をはじめ、ダチョウや合鴨にふれ合える牧場、土日を中心に開催されるさまざまなイベントなどが楽しめます。ヒマワリ畑をのんびりと散策できるレンタサイクルや遊覧車も人気。期間中は、地元の中学生が栽培した約30種類もの「世界のひまわり」も鑑賞できます。

■開催期間/7月中旬~8月中旬
■会場/ひまわりの里 北竜町字板谷143-2
■電話/0164-34-2111(北竜町産業課)
■料金/ひまわり迷路(2箇所)300円、遊覧車ひまわり号(ひまわり畑周遊15分)500円、レンタサイクル(1時間)100円、ダチョウ&合鴨のエサ各100円
■駐車場/有

●ひまわり観光センター

「ひまわりまつり」の開催期間中、休憩所として開放される屋内スポーツ施設。地元の素材を使った料理や軽食の模擬店、特産品ショップが並び、道の駅とは一味違う雰囲気を楽しむことができます。室内に土を敷き詰めた造りなので、通常は野球やテニスの練習場として町民に利用されています。

特産品



●北竜ひまわりライス

平成18年に誕生した北竜町産ブランド「北竜ひまわりライス」は、北竜町を代表する特産品。まちを挙げて水稲の農業使用量を約半分に抑える低農薬栽培に取り組み、クリーンな農業節減減の生産を実現しました。安心&安全な米として人気を集めています。



●北竜ひまわりすいか

ヒマワリを連想させる黄色い果肉の「北竜ひまわりすいか」は、冷蔵庫に入れやすい小玉サイズ。糖度が高くすっきりとした甘さです。糖度は11%以上、重さや大きさなど厳しい基準をクリアしたものが出荷されるので、夏の貴重な恵みといえます。

●エコファーム認定

「北竜ひまわりすいか」や「北竜ひまわりメロン」は、土づくりや農業・化学肥料の削減を図り、環境にやさしい農業に取り組む事業者を対象にした「エコファーム認定」を受けた生産者がつくりしています。愛情を込めて育まれたフルーツをぜひ味わって!

■電話/0164-34-2211(JAきたそらち北竜支所)